

【東京ガス ガスミュージアム】LNG50周年 ～石炭・石油から天然ガスへ～「かわる原料 ささえる技術」展 開催のお知らせ

東京ガスのガスミュージアムでは、2019年7月6日（土）から9月23日（月・祝）、2019年度第二回企画展『LNG50周年～石炭・石油から天然ガスへ～「かわる原料 ささえる技術」展』を開催します。



今から50年前の昭和44年(1969)11月4日、LNG（液化天然ガス）を積んだ「ポーラ・アラスカ」号が、アラスカより東京ガス根岸工場（神奈川県横浜市）に到着しました。

それまで都市ガスの原料は「石炭」や「石油」でしたが、「LNG」の導入は高度経済成長期の旺盛なエネルギー需要や、社会問題化していた大気汚染に対する切り札となりました。

ただし、LNGの導入には『LNG三大プロジェクト』と呼ばれる「受入基地の建設」「導管網の新設」「一軒一軒のお客さま宅にあるガス器具の調整」という大変困難な3つのプロジェクトを行う必要がありました。

また、LNG利用を支えるため、超低温に対応した新たなタンクやガス管の導入、ガスメーターや点火装置など新技術も開発する必要がありました。これらの技術は現在でもさまざまな場面で活躍しています。

東京ガスは日本でいち早く天然ガスの高い価値を見出し、幾多の困難を乗り越え、LNGの導入を実現したのです。そして今日、天然ガスは日本の社会経済を支える基幹エネルギーとなっています。

今回はLNG導入に合わせて実施された「LNG三大プロジェクト」を中心に、私たちの暮らしを支えている技術についてもご紹介します。

【会期】2019年7月6日（土）～9月23日（月・祝）

【休館日】月曜日 ※7月15日・8月12日・9月16日・9月23日開館、
7月16日・8月13日・9月17日休館

【開館時間】午前10時～午後5時

【入場】無料

【問合せ先】GAS MUSEUM がす資料館 <https://www.gasmuseum.jp/>

住所：東京都小平市大沼町4-31-25

TEL：042-342-1715/FAX：042-342-8057

受付時間：月曜日を除く10:00～17:00

※月曜日が祝日の場合は開館、火曜日休館

